

国際交流学部国際交流学科 4 年

留学先: シリマン大学 (フィリピン)

留学期間: 2024 年 8 月～2025 年 5 月

・留学を決めたきっかけや目的

大学入学時から「新しいことに挑戦したい」と考え、留学に強い関心を持っていました。1 年次にはハワイで短期語学留学を経験し、英語力の課題を痛感したことで、長期留学を目指すようになりました。目的は二つあり、一つは実践的な英語力を身につけること、もう一つは地域活動に参加し現地の社会や価値観を体感することです。また、「若者の妊娠」や「性教育」をテーマに卒業論文の執筆を考えていたため、現地の関連機関で活動し、理解を深める機会を得たいと考えていました。

・留学中に意欲的に取り組んだこと

留学中は大学の学びに加えて、コミュニティ活動にも力を入れました。前期は性暴力被害を受けた少女たちが暮らす施設で、クライアント一人を担当し、英語学習の支援を通じて自信回復に寄り添いました。最終的に「自信が 40% から 80% に上がった」と語ってくれたことは大きな成果でした。後期は、薬物問題や貧困、環境問題を抱える地域でのコミュニティ開発に参加しました。言語の壁がある中でも積極的に関わり、地域住民の意識を高めるイベントの運営を主にしました。最終課題として、日本の「子ども食堂」をモデルにした支援活動を提案しました。地域資源やステークホルダーの分析や持続可能性を検討し、プレゼンテーションを行いました。これらの経験を通じて、課題発見・解決能力と実践力を培うことができました。

・これから留学を考えている方にアドバイス

「Everything happens for a reason」この言葉は、留学中ずっと私の心の支えでした。留学にはキラキラしたイメージがありますが、実際には自分自身と深く向き合う時間でもありました。時には目の前の現実から逃げ出したくなることもありましたが、振り返ってみると、どの出来事もすべてが繋がっていて、それぞれが今の自分をつくる大切な経験だったと気づきました。もしこの「留学」という扉を開かなかったら、今の私はいなかったと思います。卒業を遅らせてまでフィリピンへ来たことに、後悔は一つもありません。フィリピンでの生活を乗り越えたことで、「これから先、どんなことがあっても大丈夫」と、自分を信じられるようにもなりました。人生に悔いを残さないためには、いつも自分の気持ちに正直でいることが一番大切です。すべての出来事には意味があると信じて、新しい挑戦にも前向きに向かっていってください！

